



店主の矢口浩一さんと妻の幸恵さん

ドライフラワーやレトロな雑貨でおしゃれにディスプレイされた店内。実は100年以上前から続く、歴史あるお店です。今回の「シリーズまち・ひと・しごと」は、様々な時代を乗り越えて、町民の暮らしに寄り添ってきた老舗矢口商店の矢口浩一さんと矢口幸恵さんにお話を伺いました。



店内のディスプレイは、浩一さんの趣味だというレトロ雑貨と幸恵さんが作ったリースやスワッグが見事にマッチしている

「旬花」の始まり

幸恵さんはもともと別の仕事をしていて、繁忙期だけ手伝っていたそうですが、今から約5年前にご主人が体調を崩した事があり、それを機に、仕事を辞めて本格的にお店に立つようになったそうです。

以前からドライフラワーが好きだったという幸恵さんは、空いた時間を使って、お店のディスプレイ用にドライフラワーを作っていたそうです。

「昔から『私のカントリー』という雑誌が好きで、子育て中の空いた時間に、

4代続く矢口商店

布川にある矢口商店は、現在の店主浩一さんで4代目となる老舗の商店です。創業当初は米と肥料の販売をしており、それからプロパンガスの取り扱いを始め、生花を始めたのは昭和53年頃からだそうです。浩一さんの母と祖母が始めたという生花は、お店に仏花を買いに来るお客さんが多かった事や、自宅でお葬式をする家庭が多かった事から、幸恵さんがお嫁に来た頃もとても忙しくしていたそうです。

「農家さんが多かった頃は、お米の検査や販売もやっていた、生花の繁忙期もすごく忙しかったので、子ども達を両親に預けて、実家に通いながらお店を手伝っていました」

TONE



～利根町百景～

大平にある大平野生植物園では、3月になると春の訪れを告げる花が咲き始めます。早春の短い期間にだけ咲く植物をスプリングエフェメラル（春の儂いもの）と呼ぶそうです。写真の花はその一つ、福寿草です。福寿草という縁起の良い名前から、お正月の鉢花としても人気が高いそうですが、地植えで咲くのは2月頃から4月頃だそうです。

大平野生植物園の福寿草

利根町大平447

あり

080-3174-8458 (倉本)

★今年のカタクリ鑑賞会は
3月9日(土)～3月17日(日)
午前9時～午後4時

情報をお寄せください

広報とね「利根町百景」は、読者の皆さま寄せられた情報をご紹介しますコーナーです。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる身近な情報を写真付きでお寄せください。

【応募方法】

総務課「利根町百景」係まで写真をメールで送付してください。

今月の表紙



表紙の写真は、今月の「シリーズまち・ひと・しごと」で取材した、矢口商店 / 旬花～ yaguchi～の矢口幸恵さんです。4代目の店主となるご主人と一緒に、長く続いてきた大切なものを受け継ぎながら、新しい事にもチャレンジしている幸恵さんに、仕事や町への想いなどを伺いました。ぜひご覧ください。

もくじ -contents-

広報とね 2024年3月号

- 2 利根町百景 / もくじ
- 3 シリーズまち・ひと・しごと # 55 利根町花物語 矢口商店 / 旬花～ yaguchi～
- 6 まちの話題 PHOTO NEWS
- 8 Pick UP !
- 10 暮らしの情報欄
- 14 消費生活相談 商工会だより
- 15 ぼうさい掲示板
- 16 お知らせ -TONE Information-
- 19 利根町未来ラボ メンバー募集
- 20 日本ウェルネススポーツ大学通信 フリフリグッパ体操 / とねワイワイくらぶ
- 22 保健福祉センターだより / 健康レシピ
- 26 男女共同参画 認知症地域支援推進員のつづき こんにちは★生活環境課です
- 28 こんにちは!! とね子育て支援センターです わが家のアイドル写真館
- 29 図書館からのお知らせ
- 30 とねまちプレイバック



「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント (UD フォント)」を使用しています。